

遊び体験、楽しさいっぱい

県南教育事務所

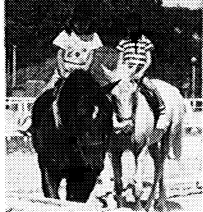
県南管内十二市町村のうち、二町村の一回めの状況の一端を紹介します。

○『棚倉町』

町の教育委員会の企画のもと、棚倉小学校でのレクリエーション活動、ルネサンス棚倉の施設を活用した活動が行われました。そして、「物語りのある町づくり」の活動と合わせて、八溝山登山も行われました。棚倉小には、幼稚園児、小学生が約八十名ほど集まり、父兄や幼稚園、小学校の先生方のボランティアが多数あり、子どもたちも楽しく活動していました。



▲棚倉小でのレク
▼ルネサンス棚倉・乗馬



○『大信村』
大信村は、県生涯学習課の学校週5日制対応支援事業の指定を受け、次の二つの事業を中心に豊かな体験をさせようとしています。



塩焼き 舌鼓を
打つ 子どもたち

「青少年女子サークル活動」

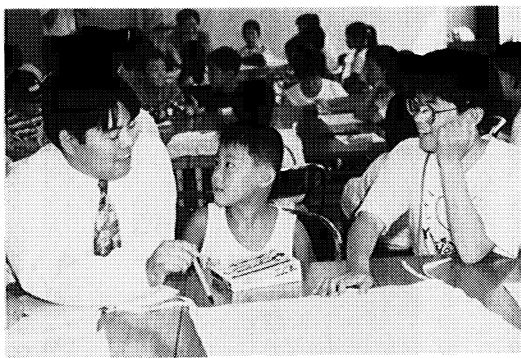
児童の参加希望をとり、実践者協議会を結成して企画し、今後とも計画的に実践していくことになっています。「ジョイフルサタデープラン」

児童の活動を父兄がバックアップし、親子参加の形で実施され、今後とも計画的に実践していきます。

今回は期せずして、両事業とも、魚とりを中心に行いました。竹串を作り、とった魚を塩焼にきして食べました。

『なんでも体験隊』

いわき市立中央公民館では、三十一名の児童を対象に「なんでも体験隊」を組織しました。これは、県教育委員会の「ぼくらがつくるジョイフルサタデープラン事業」に基づき、子どもが主体となつて企画・運営をするもので、初日は、開講式に続いて自己紹介や班長、副班長の選出を行い、さっそく班旗づくりに取りかかりました。その後、三班に分かれた子ども達は、出来上が



みんなで
班旗づくり

生き生きフレッシュふれあいデー

—いわき教育事務所—

ユニアとうげいサークルも開かれ、二十六名の子も達が皿や茶碗等、世界でたった一つのオリジナル作品作りに挑戦していました。

『なかよし五人組』

N小三年のなかよし五人組は、近くの公園へ遊びに出かけました。今日の日を楽しみにして、前からあれこれと相談して計画を立てたことでした。

弁当やおやつを詰めたりリュックを背に、手に手にドッチボールやバットを持って歩いて行く姿は、実に生き生きしていました。



手に手に遊び道具を持って